

第296号

令和4年4月発行

発行人 福本陽平

霜仁会事務局 TEL:0836-22-2029

FAX:0836-31-7586

E-mail:jimu@soujinkai.jp

HP:http://soujinkai.jp/

印刷所 瞬報社オフリン印刷(株)

山口大学医学部

霜仁会会報

医学系研究科長・

医学部長就任のご挨拶

山口大学大学院医学系研究科長
山口大学医学部長



篠田晃

霜仁会の皆様には日頃から大変お世話をいただき心より感謝申し上げます。この度、山口大学大学院医学系研究科長・医学部長に再任されました。この場を借りて謹んでご挨拶申し上げます。二期目に入りますが、引き続き、微力ながら医学系研究科、医学部の発展のため全身全霊で努力しますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

一期目は就任日より新型コロナウイルス対応に終始する感がありました。現在もなお職員や学生に感染者が出ており、新型変異株の脅威に曝されて、依然予断を許さぬ状況にあります。霜仁会の諸先生におかれましても、2020年から続く新型コロナウイルス感染症対応を伴う医療現場で大変な御苦労を重ねて来られたことと拝察いたします。皆様の医療への御尽力と献身に心から敬意と感謝を申し上げます。山口大学医学部も、新型コロナウイルス感染拡大防止とともに教育研究、臨床機能も強化が果たせるよう、医学部のチームCoViCoMを中心に、附属病院のYUNECOと協力して、三密回避、健康管理、衛生管理を徹底し、注意深く対応していきたいと思っております。

コロナ禍にあつては、附属病院での実習や学外の病院・施設での十分な学生実習が行えておりません。こうした事態への対応として、医学科では一般的なりモーター教育に加え、仮想現実(VR)空間内実習を視野に置き、デジタルトランスフォーメーション(DX)の促進に力を入れ始めております。DXを実装化して十分活用すべき時代の到来

を認識する一方で、医学部教育で重要視すべき臨床実習、実践研究参加型教育、対人スキルの向上、授業や課外活動が介在した絆形成等であることを考えると、やはり対面教育が基本であることも痛感しているところです。特に外科教育の強化については、是非ともDX化と連動させながら推進したいと思っております。既に5年前から2年生の解剖学実習に縫合手技教育を導入し、令和4年度は全外科系診療科の協力のもとで、2年次に早期外科研修(BST)ユニットが課目設定されました。また4年前から若手医師の手術手技向上のための遺体活用臨床外科研修(COST)が始まっており、年々ニーズは増大し、2020年度は参加者100名を超え、2021年度は、コロナの蔓延で開催中止もあったのですが、150名を超える学生・研修医・若手医師が参加いたしました。LTP、MECCの協力もあつて、手術のデジタルイメージングのコンテンツも増えてまいりました。これが背景にあ

り、文科省の令和3年度「デジタル活用教育高度化事業」に共同獣医学部と共同プロジェクトが採用され、アニメラボの活用やコロナ禍に対応した仮想現実空間内での解剖・外科教育の開発・導入の準備が始まりました。さらにこの令和4年3月には医学科・保健学科ともに文科省の「ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業」に選定採用されました。医学科生にも外科を志望するものが増えてきています。将来、県内で数多くの腕のいい外科医が輩出され、外科の強い医学部として益々の信用や評判を獲得できれば、多くの患者さんが来院し、卒業生も率先して山口大学での研修を望み、他県からも多くの優秀な若手医師が集まるのではないかと期待いたします。研究科の機能強化はもう一つの喫緊の課題です。現在小串地区の研究基盤環境は、本学所属の総合実験科学センターやURAやライフサイエンス支援センターや図書館などを介して大学本部の主導のもとに整備されております。一方、医学研究科の組織自体が脆弱なため、研究者個人の能力依存的に個別研究が推し進められております。質の高い研究成果を効率よく健全に得るためには、研究科長が座長として上記全学組織と協力し、戦略的に研究機器の導入や外部資金獲得情報支援や図書館学術情報整備などを進める必要があります。そのため令和4年から研究科長補佐会や研究戦略組織を立ち上げました。また一昨年にはCoCoを結成して、有能な研究者と発展性の高いオリジナルな革新的研究課題の発掘や育成に焦点を当て、将来に向けて種蒔きを始めました。十分に評価されていない段階で、専門家の目利きにより発芽を誘導し、これらが山口大学発の独創的研究、社会的変革をもたらす実装研究へ成熟していくことを期待しています。

この2年間、学生主催の「医学祭」と研究者の「山口医学会」の同日開催を共同企画しましたが、コロナ禍で中止を余儀なくされました。今年こそは、これを實現し、学術とエンターテイメントを融合してフェスティバル的に盛り上げ、ここに卒業生・後援会の方々のホームカミングデイを重なることで医学部の求心力が上がることを期待いたします。昨年、医学部独自にGrace of HEARTS (Glob-

ally-Refined Academic & Clinical Education of Humanism, Ethics, Arts of Medicine, Research Technology, Self-development) を掲げております。これらを意識して「発見し、はぐくみ、かたちにする知の広場の創造」を実現するため、教職員と学生が互いに絆で結ばれ、皆が最高学術府としての誇りと責務を自

覚し、自己実現や社会貢献を働き甲斐や学び甲斐と感ぜられる環境を形成できれば良いと思っております。霜仁会会員の皆様には、医学部・医学研究科が益々発展で温かい御支援、御指導、御鞭撻を賜り、倍旧の御理解と御協力をいただきますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

理事 会 報 告

第6回理事会

令和3年12月17日(金)
19時より霜仁会医学交流会館3階会議室において25名の出席のもと開催された。

2. 12月17日(金)
白衣着衣式 (福本)

【報告事項】

1. 11月19日(金)

霜仁会賞運営委員会

(沖中)

第7回理事会

令和4年1月21日(金)
19時より医学交流会館3階会議室において25名の出席のもと開催された。

【報告事項】

1. 1月17日(月)

第1回霜仁会学術振興賞選考委員会

(山本(健))

2. 霜仁会館工事進捗状況について (事務局)

3. その他

・薦田信先生(昭和39年卒)のご遺族様から寄附があった。

【審議事項】

1. 選挙管理委員会委員として、若松隆史先生(昭和56年卒)と鶴田良介教授(救急・総合診療医学)が承認された。(白澤)

2. 新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインについて、資料により説明があり、原案通り承認された。(事務局)

退任挨拶

退任のご挨拶

山口大学大学院医学系研究科
ゲノム・機能分子解析学講座(微生物学)

白井睦訓



霜仁会の皆様には長年にわたりご支援・ご指導を賜り大変にお世話になりました。

私は、昭和56年山口大学医学部医学科を卒業し、昭和57年(財)癌研究所研究員・レジデント、昭和60年東京大学大学院医学研究科博士課程修了、昭和60年東京大学附属病院助手、平成1年 文部省在外研究員として米国国立衛生研究所(NIH) 同癌研究所(NCI) ワクチン研究部門派遣、平成2年 乙型肝炎ウイルス研究員、平成7年 香川県立中央病院内科併任講師、平成12年 現在 山口大学大学院医学系研究科ゲノム・機能分子解析学分野(微生物学)教授、平成20年 山口大学大学院医学系研究科情報解析医学系専攻長、平成28年度から山口大学副学長として大学評価、広報を担当し、山口大学評価委員会議長を務め、山口大学内部統制会議、山口大学評議員会、山口大学経営協議会などに寄与させていただきました。その間、文科省や経産省などの省庁の学術委員を務めました。医学部では微生物学の教育に尽力し、学生部委員の時に、全国に先駆けて医学科に推薦入学と地域枠制度を企画しました。研究では、日本学術振興会未来開拓研究推進事業、経産省 NEDO、NITE 事業、文科省タンパク3000事業、農水省新技術創出事業などを受託し、我が国の病原菌全ゲノム解読第一号となる肺炎クラミジアや、日本紅斑熱リケッチア、伝統的にお酢作りに使用される酢酸菌など多くの細菌の全ゲノム解読ができた。学会活動では、日米医学協力会議メンバー(日本医学会主催、文科省後援)、日本細菌学会評議員会議長、理事、監事、評議員、日本感染症学会評議員、西日本理事、日本肝臓学会西部会評議員、指導医などを勤めました。診療業務では附属病院総合診療部・一般内科外来、院内感染専門部会委員、感染制御部院内感染対策チームメンバー、山口大学医師会監事などを担当いたしました。定年の直前に未曾有のコロナ禍となり、微生物学者として貢献のできないまま退任したことは大変に残念でした。本学の卒業生から一人でも多くの感染症研究者が出てくることを期待したいと存じます。定年後は、先祖ゆかりの地である広島市に転居して病院長として地域医療に奮闘中です。最後にになりましたが、霜仁会の益々のご発展と会員の皆様のご多幸を祈念いたします。

《事務局からのお願い》

事務局からの郵便物が転居先不明で、多数戻ってきます。
住所・所属等に変更がありましたら、ファックスまたは、Eメールでお知らせください。

霜仁会事務局

FAX: (0836) 31-7586

E-Mail: jimus@soujinkai.jp

退任挨拶

退任の御挨拶

山口大学大学院医学系研究科
臨床神経学講座



神田 隆

この度、令和4年3月末日をもって定年退職いたしました。霜仁会会員の皆様には、17年余にわたりひとかたならぬお世話になりました。心より感謝申し上げます。

私は昭和56年3月に東京医科歯科大学医学部を卒業後、当時医学部の臨床講座として日本で最初に設立された同大学神経内科学教室に入局、医師、大学院生として神経内科医のキャリアをスタートしました。4年間の米国留学（南カリフォルニア大学、ヴァージニア医科大学）から帰国後、母校の講師、助教授を経て平成16年9月に神経内科教授として山口大学医学部に赴任いたしました。

患や末梢神経・筋疾患だけでなく、脳血管障害、認知症、てんかん、頭痛など広範な領域を準備範囲としていますが、日本では診療科としてのスタートが遅れ、未だ社会の認識も人員も十分ではありません。私は山口に着任して、スタッフも予算も限られた中でどのように世界に伍する教室を作ることができるといふことを自らの課題とし、臨床面では世界に通用する臨床能力を持つ神経科医を育てること、研究面では当時必要性を皆が感じていたにもかかわらず達成できていなかったヒト血液脳関門・血液神経関門モデルの作成、を2つの柱に取り組んでまいりました。幸い、私の考えに共感してくれる優秀な卒業生に恵まれ、この2つの目標を支える次の世代のリーダーも育成できたのではないかと思います。この後10年、20年と教室が更に

退任挨拶

退任のあいさつ

山口大学大学院医学系研究科
泌尿器科学講座



松山 豪泰

平成20年8月に4代目の泌尿器科学講座教授を拝命し、本年3月を持ちまして定年退職いたしました。昭和56年に山口大学医学部を卒業後、2代酒徳教授の門下として泌尿器科に入局いたしました。昭和58年に大学院に入学しましたが、筆記試験は、やりたい研究テーマを2つとその理由を書きなさい」との問題で、第1希望分野（腎移植）は見事に外れ、第2希望の腫瘍グループに回され、昭和62年に学位を取得しました。当時は少しかかりもしましたが、これがライフワークになったわけですから、「思い通りにならなくても、とにかく前向きにやれば道が開ける」と悟ったことが最大収穫でした。平成2年に3代目内藤克輔教授が

金沢大学より赴任され、平成4年〜6年にスウェーデン王立カロリンスカ研究所に留学させていただきました。留学先ではFISH (Fluorescence in situ hybridization) 法をもちいた泌尿器癌の遺伝子変異解析を行いました。興味半分で大学院のintensive course（1週間の講義と試験）を3〜4つコースを受講したのですが、これが後になって役立ち、幸いにも平成8年に2つ目の学位（PhD）を取得いたしました。「一見無駄と見えたようなことも後で役に立つことがある」ということを実感しました。平成8年に山口赤十字病院に泌尿器科部長として赴任しましたが、平成13年に助教授として復学することになりました。復学後は膀胱がんの中心体複製異常とその予後に与える影響を研究テーマとして、大学院生の指導を行い、膀胱がんで複製異常が

予後に差を与えるという報告を世界で初めて報告し、Clin. Cancer Res誌の表紙を飾りました。

教授就任後は、医学研究科医学科長補佐、附属病院副病院長を拝命し、教務委員長（2回）、医療人育成センター長等を経験させていただきました。学会活動では、2019年膀胱癌診療ガイドラインを改訂し、エビデンス形成に多少貢献できたのではないかと思います。診療面では、山口県で初めて手術ロボット（ダヴィンチ）を導入し、手術件数を教授就任時より倍増させ、山口大学附属病院に微力ながら貢献することができました。途中で腹腔鏡医療事故があり、関係者のみなさまには大変ご迷惑をおかけしたことは痛恨の極みです。改めてお詫び申し上げます。また在任中に36名（令和4年を含む）の若手泌尿器科医を迎えることができました。

退職後はJ-A山口厚生連総合病院長として、長門総合病院で勤務予定です。最後になりましたが、関係者の皆さまに篤く御礼申し上げます。山口大学医学部、附属病院の益々の発展を祈念しております。

就任挨拶

学長就任のご挨拶



山口大学長 谷澤幸生

霜仁会のみなさまには、平素より医学部並びに山口大学に温かいご支援をいただき、ありがとうございます。令和4年(2022年)4月1日をもちまして、第14代山口大学長を拝命しました。改めてご報告とご挨拶を申し上げます。

私は昭和52年(1977年)山口大学医学部に入学し、以来、45年間、山口大学にお世話になって参りました。卒業後は、兼子俊男先生が主宰された第三内科に入局し、主として内分泌・代謝・糖尿病学を専門とし、教育・診療・研究に従事しました。平成28年4月から医学部長・医学系研究科長を、令和2年4月から副学長(大学評価担当(併任))、令和3年4月から本年3月まで理事・副学長(総務企画・情報セキュリティ、大学評価担当)を務め、今回、学長に選任いただきました。

山口大学は文化12年(1815年)、長州藩士・上田鳳陽先生により創設された私塾・山口講堂を前身とし、すでに207年の歴史を持ちます。現在では9学部、8研究科を擁する総合大学で、1万人以上の学生が在籍し、121,800人余の卒業生・学位授与者が日本全国、世界各国で活躍しています。「知の拠点」として、研究、人材育成、社会貢献に重要な役割を演じてきました。今後4年間、山口大学長を担わせていただく重責をひしひしと感じております。理事・教職員、そして学生とともに山口大学のさらなる発展を期して、全力を尽くして参ります。

学長就任にあたり、まず、何事に対しても、積極的にチャレンジし、日本で、世界で輝く大学を目指します。すべての構成員が、それぞれの個性と能力を十分に発揮し、つながり、活躍できるキャンパスにおいて、「地域に根ざし、世界に発信する知」を創造してゆきたい

と思います。変化する社会に対して強く、しなやかに対応できる研究、人材育成を実現することが重要です。また、Societyやカーボンニュートラルに対応してイノベーションを先導し、SDGにに取り組んでゆきます。国立大学は知を創造し、世界に発信することはもちろんですが、今、特に地域との連携、地域への貢献が求められています。社会課題を地域と共有し、企業や教育機関、行政機関と協働し、優秀な人材を提供し、課題の解決に寄与することにより、地域に頼られ、地域から必要とされる魅力ある大学をめざします。少子化社会を迎え、地方大学は困難な時期に向かっていきます。入学したい大学、入学させたい大学であることがなにより重要です。

地域の基幹大学として、歴史と伝統を踏まえ、本学の基本理念で示す「発見し、はぐくみ・かたちにする知の広場」で、学生をはじめとするステークホルダーとの協働・連携により未来を共創し、社会に貢献して行きたいと思えます。霜仁会のみなさまのなご支援をお願い申し上げます。

学内報告

白衣着衣式謝辞・宣誓

医学科 四年総代 瀬戸口 貴昭

本日は、御多忙の中、私達医学科四年生のために多くの先生方、また職員の皆様にお集まりいただき、誠にありがとうございます。医療人としての新たな一歩を踏み出す私達の決意とし



で、誓いを述べさせて頂きます。

一つ、医療従事者としての責任を日々自覚し、常に謙虚な姿勢と向上心を以て、自らの生涯を人道のために捧げることを誓います。

一つ、これまで学んできた知識を臨床の場より実践的な知識として昇華し、日々の弛まぬ研鑽によって医師としての専門性を追求していくことを誓います。

一つ、常に患者さんの健康を第一とし、患者さんと献身的に向き合い、意思を尊重することで、慈愛の精神を以て医療に寄与することを誓います。

一つ、日々進歩する医療を学び続ける生涯学習の姿勢を忘れず、既存の疾患は勿論、時代の変化に伴って新興する疾患にも対応しうる普遍的な知識と技術を持ち、医学の進歩と発展に貢献できる医療人になることを誓います。

以上、頂いた白衣の責任と使命を胸に、日々精進して参ります。

(集合写真はP14に掲載)

教室紹介

器官解剖学講座

(解剖学第一)

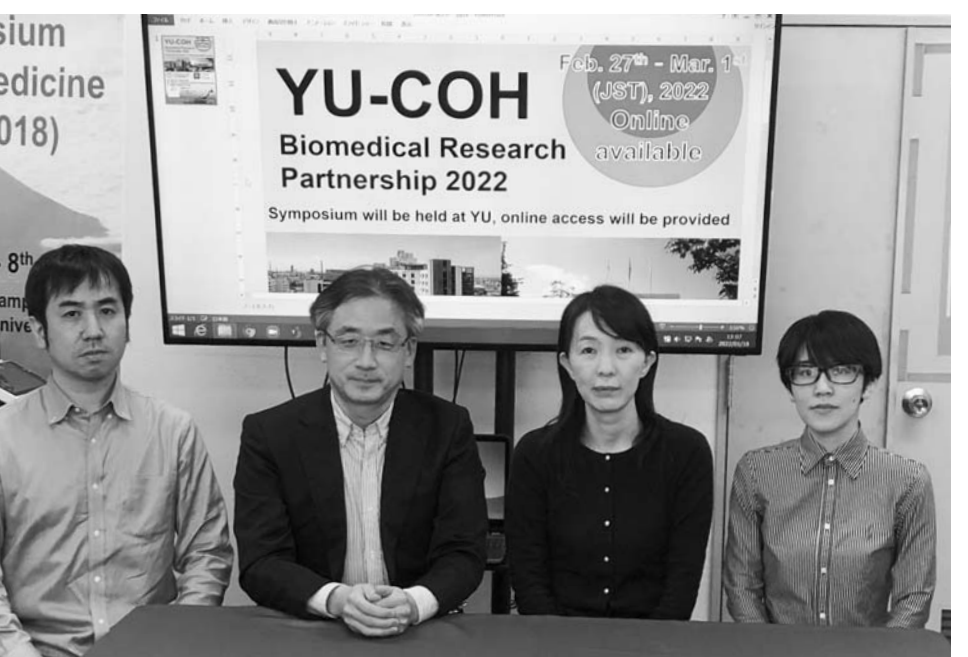
器官解剖学講座（解剖学第一）は本学開設（1964年4月）と同時に開講されました。初代の尾曾越文亮教授は造血・免疫系の解剖学の第一人者として活躍され、多くの業績を残されました。人類学で歴史的功績を残された金関丈夫教授に続き、栗屋和彦教授が尾曾越教授の研究を発展され、学長に転任されました。その後、福本哲夫教授が就任され、造血系・免疫系について研究を展開されました。

2006年には大和田祐二教授が就任され、脂質分野、特に脂肪酸結合蛋白質（FABP）の研究を精力的に進められました。2016年4月より第6代目教授として中村教泰が着任し、現在、中村純奈、望月ちひろ、加藤茂樹の3名が助教として在籍し、ナノ医学の研究を進めています。ナノ医学は多種多様な分子をナノ構造体に機能的に集約することにより高性能なナノマシンとして強力

かつ多彩な効果を發揮させ、これまでの医学の限界を打ち破る革新的医療を実現することが期待されています。当講座では、多機能ナノ構造体を創生するものづくり研究とその「医学生物学における応用研究」を行っています。独自に開発した有機シリカ粒子技術（国際特許取得済）を基盤として異分野融合による学際的研究により新規かつ有用な医療用ナノ粒子の創生を進めています。臨床医学への橋渡し研究として治療と診断の一体化（セラノステイクス）の実現のための研究を進めています。これらの研究はJSPS1国間交流事業や山口大学重点連携大学事業により国際化活動が支援されました。そして2017年8月1日に米国City of Hope研究所との部局間協定の締結に貢献しました。

本協定に基づき、自己開発コース（海外オリジナルコース（医学科3年）においてCity of Hope 研究留学（6名）やクリニカル・シヤドウイング参加（2名）が実現しました。さらに2018年には中村（教）が大会長として国際シンポジウム12th International Symposium on Nanomedicineを山口大学医学部（小串キャンパス）で開催しました。2019年には山口大学研究拠点群形成プロジェクトに「ナノ・セラノステイクス国際センター」が採択されました。2021年には欧州最大規模の学会European Materials Research Society (EMRS)で中村（教）がKey Presentationとして招待講演を行いました。これらの成果の一部は国際共著論文4報（内責任著者3報）として発表されました。また学術活動として日本解剖学会代議員、日本ナノメディシン協会とナノ学会の理事や学術誌Frontiers in Bioengineering and Biotechnology等のエディターを行っています。研究成果の社会貢献として企業と共同で蛍光ナノ粒子の製品化も進んでおり、国内外の学会での展示発表も行われています。学部教育では医学の基盤となる解剖学を担当しています。基礎生命実験医学、基礎解剖生理学序説、消化

器系、泌尿・生殖器等の講義、そして実習では肉眼解剖学実習、組織学系実習（基礎組織学演習）、組織学実習、統合組織学演習）等を行っています。学習支援システム Moodle によるゼラーニングを講義と実習に導入し、学修のアクティブ化を進めています。また組織学実習では新たに電子標本（バーチャルスライド）を導入し、学内外から組織標本の観察を可能としました。各学生の個性に応じたユビキタスな学修環境の構築による学修効果の向上を進めています。また学部学生の研究マインドの向上のため国際学会での学生による発表（3名）や海外研究室での成果発表、また最近ではオンラインを用いた海外研究者とのミーティングを学生と共に進めています。助教らも教育と研究に積極的に参加し、令和2年度山口大学「授業貢献度優秀賞」、ナノ学会第19回大会「Young Best Presentation Award」、14th International Symposium on Nanomedicine [The Best Poster Award] の受賞につながり、新体制での成果が徐々に現れつつあります。医学の基盤となる解剖学教育と最先端研究



をシームレスに展開し、様々な交流による国際性のある個性豊かな人材育成に取り組んでいます。世界的にも稀なものづくり研究を基盤とした医師養成講座として、創造性と獨創性、社会的有用性の高い研究成果の発信と共に、製品化や事業化、さらにはトランス

レーショナルリサーチへの展開を目指し、国際社会に貢献できる医学者・医師の育成に取り組む所存でございます。霜仁会の先生方からのこれまでのご支援に感謝致しますと共に、かわらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。（中村教泰）

病院紹介

山口労災病院



病院長 田口敏彦 先生



霜仁会員の先生方には平素よりご支援を承り、厚く御礼申し上げます。また山口大学医学部の各講座からは多くの先生方を派遣いただきました。平成7年の新病院

新築を経て、昨年度は救急科、総合内科、歯科口腔外科の常勤医師が加わり19の診療科、ベッド数308床

の宇部・山陽小野田医療圏の中核的な総合病院として、勤労者医療のみならず、すべての疾患に対し高度な専門的医療を提供する

以後病院長として勤務させてもらっております。当院は、昭和30年に全国8番目の労災病院として開設されました。当時は戦後の産業復興に伴う労働災害の急増によって、被災労働者の治療と社会復帰促進の

告示病院、地域医療支援病院、災害拠点病院としての機能を持っています。救急告示病院としては、山陽小野田市のみならず、宇部市、美祿市などの地域医療を担う病院としての役割を

意識し、救急医療にも積極的に取り組んでおり、この二次医療圏における救急搬送患者の約30%の治療にあ

たっています。地域医療支援病院としては、地域連携室や入院支援センターを設置して病診連携、病病連携を積極的に進めています。地域連携室の受け入れ患者は年々増加しており、昨年は4,454人に達しました。また、地域に向け

た公開講座の定期開催や広報活動を実施し地域へ最新の医療情報をお伝えするために、コロナ禍以前は地域医療連携カフェという会を立ち上げました。1年4回の開催で、病院以外で働く訪問看護師やケアマネージャーなどの医療関係者を集めて講演や医療情報を提供してまいりました。コロナ禍では会場開催が出来なくなっ

たために「みんなで学ぶ医療安全教室」をWEB開催で続けております。勤労者医療では、近年、病気になることも治療をしながら仕事を続ける治療と仕事の両立支援が提唱されて

います。山口労災病院では両立支援窓口を設けて、その相談件数は年間150件をこえており、医師・薬剤師・認定看護師・医療ソーシャルワーカー・理学療法士・企業の担当者・産業医など多くの関係者が関わって仕事の継続を支援しております。さらには実際に職場訪問し勤労者の健康と職業生活を守ることを目的とする医療も行っております。

職員の働き方改革では、病院勤務医の業務環境の整備が病院としての最優先の課題と考えて対策を行っております。2024年度より

導入される医師の時間外労働の上限規制原則の「年960時間」のA水準は既に実施されており、また女性医師対策として、小学校就学前の子の育児のため8時間勤務が困難な医師を対象に、勤務時間は週20時間以上とし、希望の勤務時間で働ける制度を設けています。つまり、1日4時間程度働いて常勤扱いとする制度です。その他には院内保育園を設置しており、育児も実施しております。

現在、女性医師は常勤6人、非常勤4人で、それぞれ診療科で頑張っております。卒業臨床研修については、初期臨床研修と後期臨床研修（専門医プログラム）の2つのプログラムで研修医、専攻医を受け入れております。2020年には、卒業臨床研修評価機構の審査をうけ全国で280番目、山口県では当時唯一の認定病院になりました。

少人数のローテーションという利点は、マンツーマンの個人指導が行き届き、小さな履修変更などの小回りが利くことが最大の利点です。また臨床研修が充実するように、毎月第4金曜日には院長室で研修医懇話会

を行っています。この2年間はコロナに振り回された感があります。この間当院では、山口県健康福祉部、山陽小野田市医師会、宇部市保健所、山陽小野田市健康増進課など関係機関と連絡を取りあい、意見交換を行ってコロナに対応して参りました。また同じ二次医療圏内に山口大学病院や山口宇部医療センターの重点医療機関があつて、コロナ患者のすみ分けができ、現在までは一般救急を休止することなく地域医療に貢献できたと考えています。しかし今後は感染力の強いオミクロン株BA.1の拡がりによっては、病院機能の維持には、さらに厳しい状況に陥る可能性があります。まだまだ予断が許されない状況と思っております。

山口労災病院の存在意義は時代とともに変わってきましたが、今後も最先端の医療を提供しながらも、地域から信頼され愛される病院として医療サービスを提供したいと思っております。

最後にになりましたが、霜仁会会員の皆様のご健勝を祈念しております。

(令和4年2月7日)

ご結婚・ご宿泊・会議・会食に

国際ホテル宇部

☎0120-375931

山口県宇部市島1丁目7-1

<http://www.kokusaihotel-ube.co.jp>

まだないくすりを
創るしごと。

明日は変えられる。



アステラス製薬株式会社

www.astellas.com/jp/



イノベーションに情熱を。
ひとに思いやりを。



Daiichi-Sankyo



約W78×D40×H19mm

えっ！これがポンプ？

日本初。チューブフリーのパッチ式インスリンポンプ。

MEDISAFE WITH™



一般的名称：ボータブルインスリン用輸液ポンプ 販売名：メディセーフウィズ 医療機器承認番号 22900B2X00374
テルモ株式会社 〒151-0072 東京都渋谷区幡豆2-44-1 www.terumo.co.jp
登録されている社名、登録名称は、テルモ株式会社および各社の商標または登録商標です。
©テルモ株式会社 2020年7月



ANA CROWNE PLAZA®

AN IHG® HOTEL

UBE

ANAクラウンプラザホテル宇部
〒755-8588 山口県宇部市相生町 8-1 Tel:0836-32-1112(代)

医療関連事業
疾病の診断から治療までを担う

ニュートラシューティカルズ関連事業
日々の健康維持・増進をサポートする

両輪で身体全体を考える

世界の人々の健康に貢献する
トータルヘルスケアカンパニーを目指します。

Otsuka-people creating new products
for better health worldwide

<https://www.otsuka.co.jp/>



Otsuka 大塚製薬

山口大学医学部霜仁会の 会員総合補償制度

中途加入受付中！ 中途加入の場合、毎月20日までにお申込みいただくと翌月の1日が補償の開始日となります。

団体割引※が適用されるため、**保険料が割安**です!!

※団体割引は毎年変動する可能性があります。本チラシに記載の団体割引は、2022年4月1日～2023年4月1日までに保険始期のあるご契約に適用されます。



産業医等活動保険にもご加入できます！
(勤務医師賠償責任保険任意オプション)

地震や日常生活による**ケガ**・**携行品** 賠償責任を補償 **5%** 団体割引

傷害補償

- ◆国内外、24時間、事故によるケガを補償します。(地震・噴火・これらによる津波によるケガも補償します。)
- ◆ケガ以外にも携行品の損壊など、様々なリスクを補償します。
- ◆年齢にかかわらず保険料は一律です。

会員総合補償制度のおかげで安心して医療に従事できます

万一の医療事故を補償

医師賠償責任保険 (勤務医向け)

団体割引 **20%**

働けなくなった時の**収入**を補償 **10%** 団体割引

所得補償

- ◆病気やケガで就業不能となった場合に、先生方の所得を補償します。
- ◆入院はもちろん、自宅療養もカバーできます。
- ◆ご加入の際、医師の診査はありません。(健康状態告知のみ)。

所得補償、団体長期障害所得補償
どちらも加入することをおすすめします。

万一の**がん**・**病気**・**ケガ**を補償

がん補償

- ◆がんと診断されたとき、診断保険金が支払われます。
- ◆入院保険金は1日目から何日も補償されます。
- ◆手術保険金は何回でも補償されます。(手術の内容・種類によっては回数の制限があったり、お支払の対象とならない場合があります。)
- ◆ご加入の際、医師の診査はありません。(健康状態告知のみ)。

医療補償

- ◆病気だけでなくケガによる入院も補償されます。
- ◆入院保険金は入院1日目から補償されます。(限度日数あり)。
- ◆ご加入の際、医師の診査はありません。(健康状態告知のみ)。

長期間働けなくなった時の**収入**を補償 **10%** 団体割引

団体長期障害所得補償

- ◆病気やケガで就業障害となった場合に、先生方の所得を補償します。
- ◆長期にわたり(最長5年)生活費をお届けします。
- ◆ご加入の際、医師の診査はありません。(健康状態告知のみ)。

突然**介護**が必要になった時に**保険金**をお支払 **10%** 団体割引

介護補償

- ◆公的介護保険制度に基づく要介護2以上の認定を受けた場合
- ◆東京海上日動所定の要介護状態(要介護2用)と診断されその状態が90日を超えて継続した場合
いずれかの場合、保険金(一時金)をお支払いします。



詳細はパンフレットをご覧ください。この広告は医師賠償責任保険、産業医等活動保険、団体生活総合保険の概要についてご紹介したものです。詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡しする保険約款および協定書によります。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。尚、ご不明な点等がある場合には、取扱代理店までお問い合わせください。

申込書類・資料のご請求やお問い合わせはお電話もしくはメールで下記取扱代理店までお願い致します。

<p>お問合せ先・取扱代理店</p> <p>株式会社パイオニア (平日)午前9時～午後5時 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町4-4-16 小泉第2ビル3階 TEL: 0120-010-938 FAX: 0120-921-051 http://www.pioneerltd.com yamada@pioneerltd.com</p>	<p>引受保険会社</p> <p>東京海上日動火災保険株式会社 (担当部) 医療・福祉法人部 東京都千代田区三番町6-4 〒102-8014 TEL: 03-3515-4143 www.tokiomarine-nichido.co.jp 募集文書番号: 21-TC10056 2022年2月作成</p>
--	--



いついかなる時も、いちばんそばに。

To Be a Good Company



東京海上日動

医書のことなら全てお任せ下さい。

- 常時 10,000点の在庫。
- 便利な試覧制度と即日納品も可能なスピーディー宅配便。
- インターネットによる医学書の最新情報の提供と注文が可能。

《 日本医書出版協会認定
医学・看護学専門書店 》

井上書店

宇部店 〒755-8566 宇部市南小串2丁目3番1号
TEL (0836) 34-3424 FAX 34-3090
e-mail : ube @ mm-inoue.co.jp

小倉店 〒802-0077 北九州市小倉北区馬借2丁目1-20
TEL (093) 533-5005 FAX 533-9789
e-mail : kokura @ mm-inoue.co.jp

[ホームページアドレス]

<http://www.mm-inoue.co.jp>



Better Health, Brighter Future

タケダから、世界中の人々へ。
より健やかで輝かしい明日を。

武田薬品工業株式会社
www.takeda.com/jp



印刷を企画から在庫管理・発送まで

一括サポート!

まずはお気軽にご相談ください。

瞬報社オフリン印刷株式会社

[本社] 〒754-0002 山口県山口市小郡下郷2410番地

TEL 083-972-5678 FAX 083-973-1912

[営業所] 広島・下関物流センター

Hisamitsu

経皮鎮痛消炎剤

[薬価基準収載]

モーラス®パップXR120mg

MOHRUS®PAP XR120mg

ケトプロフェン2%

[薬価基準収載]

モーラス®パップXR240mg

MOHRUS®PAP XR240mg

ケトプロフェン2%

- 「効能・効果」、「用法・用量」、「効能・効果に関連する使用上の注意」、「禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

製造販売元  久光製薬株式会社

〒841-0017 鳥栖市田代大官町408番地

資料請求先：お客様相談室 〒100-6330 東京都千代田区丸の内二丁目4番1号

フリーダイヤル 0120-381332 FAX.(03)5293-1723

受付時間/9:00-17:50(土日・祝日・会社休日を除く)

2021年6月作成

ニューフェイス

初期臨床研修医を終えて

山口大学大学院医学系研究科 消化器内科学講座

品川 右京

私は山口大学を卒業後、
済生会山口総合病院で2年
間の初期臨床研修を行いま
した。出身が山口市であり、
馴染みがあった事と、診療
日々の密度が非常に濃く沢



後列一番左が品川

山の貴重な経験が得られた
2年間でした。救急診療で
は内科・外科や重症度を問
わず、全ての症例でフアー
ストタッチを経験しました。
在学中より志望していた内
科での研修はもちろんです
が、外科系や麻酔科でも多
くの特技をさせていただき
ました。

環境も研修しやすい環境
でした。研修医の人数は多
くありませんが、その分ロ
ーテートする際はマンツ
ーマンで御指導いただき、多
くの症例を主体的に診療す
る事が出来ました。また同
期の研修医と毎日のように
情報共有し切磋琢磨できる
良い環境だったと感じます。
初期研修での多くの経験
から、内視鏡を中心に様々
な検査や治療を行っている
消化器内科医に憧れを抱
き、今年度より山口大学医
学部第一内科に入局致しま
した。経験を積む度に消化
器内科の奥深さを実感する
充実した日々を送っており
ます。今後も大好きな山口
県の地域医療に貢献出来る
様、日々研鑽して参りたい
と思います。

済生会山口総合病院
<http://www.yamaguchi-saiseikai.jp/>

山口県立総合医療センターでの 臨床研修

山口大学医学部附属病院

精神科神経科

桐原 史瑛

平成31年に山口大学を卒
業後、山口県立総合医療セ
ンターにおいて2年間の臨
床研修を行いました。
当院は防府市にある一般
病床490床の病院です。
毎年10人程度の研修医が採
用され、大学病院から来る
研修医や自治医科大学卒業
医師とともに研修します。
私は内科系を中心にさまざま
な診療科で研修し、指導
医の先生方の手厚い指導の
もと一般的な疾患から特殊
な疾患まで多様な症例を経
験することができました。
当直業務では受診する患者
が後を絶たず休めない日も
ありましたが、多くの症例
を経験する機会にもなりま
した。志の高い同僚研修医
にも恵まれ、経験の共有を
通して相互に成長できたこ
とも幸いです。研修期間
の後半は新型コロナウイルス
感染症に振り回されつつ
も、全体を通して充実した
研修となりました。

現在、山口大学医学部附
属病院において精神科の専

直面することも多く自己の
非力さを実感させられます
が、人々の精神保健の向上
に寄与できるよう努めてい
きたいと考えております。
どうぞよろしくお願いいた
します。
山口県立総合医療センター
<https://www.ymgln.jp/>



後列右から3番目が桐原

ジエネシス

自治会長挨拶

2022年度自治会長

医学科 四年 古賀 瞳



本年度、山口大学医学部学生自治会で会長職を務めさせていただくことになりました。医学科4年の古賀瞳と申します。医学生が、より快適で充実した学生生活を送ることができるよう活動する学生自治会を任せていただけることになり、身が引き締まる思いです。皆様のお役に立てるよう一生懸命取り組んで参ります。1年間よろしくお願いたします。

自治会の主な活動と致しましては、今年度も引き続き吉田一小串間での平日におけるバス運行を実施することができました。バス運行が実施されるようになり、2年生以上の学生による個人での送迎をする必要

自治会側で学生教授懇談会を行い、その成果を学生に公表していくとともに、学生個人が自治会に意見や要望を届けやすい環境づくりを行っていききたいと考えております。

このように山口大学学生自治会が活発に活動できておりますのも、自治会の活動に寛大なご理解を頂きました。

自己開発コースを終えて

国内プログラムコース

医学科 四年 泉本真志



私は医療情報部にて半年間の研究活動を行いました。研究テーマは慢性腎臓病におけるダグリフロジンの費用対効果です。論文を基に慢性腎臓病の動態や薬の効果、合併症などを考慮した遷移モデルを構築し、そのモデルを用いて薬物動態をシミュレーションし、どのような遷移をするのか、薬や治療によつてどの程度の効果が得られるのかを導き出しました。自己開発中

研究を通じて2つの発見がありました。1つは情報を集めることの大変さです。データ1つを集めるにもキーワードを検索すれば関連する論文が多く掲載されています。その中から適切なものをひとつずつ目を通して選んでいきました。もう1つは新しい研究を行い、妥当な結果を得ることの難しさです。モデルを構築するにも基となるモデルはない為、一からの構築でした。研究期間の大半はこの作業に費やしましたように思います。ようやく完成したモデルも、異常な数値が得られることや、エラーが起これることは日常茶飯事であり、

自己開発コースを終えて

国内プログラムコース

医学科 四年 杉山尚平



今回の自己開発コースでは私は薬剤部で研究活動を行いました。自己開発コースを通して自分で見つけた疑問や課題を自分の力で解決することの面白さや難しさを実感することが出来たというところが大きな収穫であったと感じます。私の研究テーマは間質性肺疾患の副作用データの検討というものでしたが、普段の学校の授業で習う内容とは異なり、どのように取り組めばいいのかという点が難しかったです。また、今までの人生

でこのような長い時間一つのテーマについて研究することはなかったため、初めは何から手を付けていいのかわからず、先生の指示を仰ぎながらの研究でした。学術論文を読むことも難しかったのですが、研究を進めていく中で内容への理解が深まり、主体的に取り組めるようになりました。今回の研究では間質性肺疾患のデータをPMDAの医薬品副作用データベースであるJADERから抽出し、さらにJMPとExcelを用いて副作用発現時期を統計的に解析し、診療時に有効な副作用データを作成しました。特にJMPとExcelを用いて副作用時期を解析する際、当初予定していた方法では適切にデータを集計す

ることが出来ず、大部分のデータを再度解析し直す必要があった点は大変困難を極めました。先生のお力を借りることで何とか解析することができました。今回の研究結果を元に、副作用の被害を減らすことが出来れば嬉しく思います。最後になりましたが自己開発コースにおいて様々な面で支えて下さった幸田先生に感謝を申し上げます。初めてお会いした際に、医師として薬の副作用のことも考えられるようになって欲しい」と言われたことがとても印象に残っています。今回の自己開発コースでの経験や学びをこれからの学校生活および医師になっても忘れずに活かしていきたいと思っています。

その結果、当該有効成分が口腔癌細胞株HSC-9の増殖を促進することなく、正常皮膚角化細胞株HaCatの増殖を促進させたことが明らかとなりました。このことから、癌化学療法中の患者さんに投与した場合に、残存腫瘍の増殖を促進させることなく癌化学療法により惹起された皮膚炎や口腔粘膜炎といった有害事象に

対し、有効性を発揮できる可能性が示唆されます。今回の研究で明らかとなった知見については今秋に開催が予定されている国際学会2022 China-Japan-Korea Symposium on Analytical Chemistryでの学会発表を

通じて、海外の研究者とも議論を交わす他、その新規性から特許申請についても検討しています。今後も引き続き有効成分の単離抽出、及び作用機序の解明についてオープンサイエンスクラブの中で更に研究を進めて参りたいと考えています。そして将来は山口大学発の新医薬品の開発と癌化学療法を行う患者さんのQOLの向上を実現することが出来れば大変嬉しい限りです。

最後になりましたが半年間に渡り熱心にご指導頂いた原田先生、ならびにクロマトグラフィ分析にご助力頂いた長崎国際大薬学部環境毒理学研究室の佐藤博先生に厚く御礼を申し上げます。今回の経験を活かし医学研究、そして山口県の医療に貢献できる医師になれる様により一層努力していきたいと思っております。

山口大学では、3年次に半年間研究に専念することのできる自己開発コースがあります。私が山口大学を志望したのはこのカリキュラムがあったからと言って過言ではありません。高校生の時、山口大学第一生化学講座の教授の研究のお話を伺う機会がありました。高校生物で習う遺伝子やゲノムの知識をベースに考え方や挑戦の仕方次第でノーベル賞レベルの発見をすることができるといってお話に感動し、研究に興味を持ちました。大学に入学後、2年次からオープンサイエンスクラブに所属し、自己開発コースよりも一足先に第一生化学講座で手技などを教えていただいています。自己開発コースでは、山口大学に今年春導入予定であるCODEXという技術を用いた研究の立ち上げに

自己開発コースを終えて

国内プログラムコース

医学科 四年 林 美 瑠



私は自己開発コースにおいて歯科口腔外科講座の原



医学科 四年 木村 綾 佑

自己開発コースを終えて

国内プログラムコース

田先生のご指導のもと、山口県産の農作物に含まれる有機化合物の細胞増殖効果の検証について研究を行いました。近年SDGsが注目されている中で比較的容易

に入手、栽培が可能な農作物由来の医薬品シーズの探

究をすすめていく中で、比較

的容易に入手、栽培が可能な農

作物由来の医薬品シーズの探

クラブ紹介

空手道部

医学科 四年

矢口彩華



現在、山口大学医学部空手道部の主将を務めさせて頂いておられます。医学科4年の矢口彩華と申します。

空手道部は5年生3名、4年生2名、3年生3名、2年生1名とマネージャーが3年生1名、2年生2名の計12名で活動しています。活動日は月曜日、水曜日、木曜日の週3回、医学部体育館で行っており、月曜日と水曜日は全員で行う

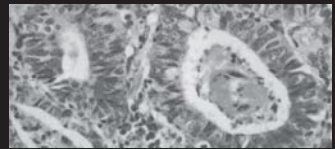
て改めて基礎基本の大切さや視野を広く持ち、様々な視点から物事を考える必要性を学ぶことができました。最後になりますが、自己開発コースに関してたくさんご指導いただいた第一生化学講座、微生物学講座の皆様

本練、木曜日は2年生以上が参加する自主練としています。練習では基本の突きや蹴り、動きを入れた実践的な練習、組手の試合、柔軟という流れで組手を主に取り組んでいます。部員のほとんどが初心者ですが、動画や本、歴代の先輩方のアドバイスを参考に教え合い、試行錯誤しながら練習をしています。主将としては先輩後輩関係なく、やってみたい練習や直したいところなどを言い合えるような雰囲気づくりに努めています。また、最近では地域の高校生や小学生、本学の空手道部員が練習に参加してくれることも多く、新しい発見や医学部以外の繋がりができるという点で部員にとって非常にいい刺激となっています。



大会に關しまして近年は新型コロナウイルスの影響により中止が続いておりましたが、例年は4月の九州山口大会、8月の西医体、3月の中四国大会などに参加しています。昨年度の11月には1年生と2年生にとって初めての大会である山口県体育大会が開催されました。本大会では男子個人形、男子個人組手、女子個人組手で3位という結果を残すことができました。大会の雰囲気や他の選手の取り組み方から様々なことを学び、普段の練習の姿勢を振り返る良い機会になったように思います。

病理組織・細胞診検査 動物実験研究用病理標本作製



地域医療に貢献し、共に発展する検査センター

登録No.100号の登録衛生検査所として病理検査部門の検査を行っています。各種臓器の生検、手術標本はもちろんのこと、研究用試料も扱っています。また、細胞診検査においても各種検体を扱っています。

責任が持てる標本作り

最新の設備を導入し、それらの機器は常に管理され、運用されています。ステップ毎に管理された行程は、日々の仕事を円滑にし、精度の高い検査情報として提供致しております。

すばやい対応・迅速・正確

持ちこまれた検査物は大事なお客様です。検査別、材料別に適した処理を迅速に行います。受付から結果報告まで一貫したシステムで対応しております。

標本が教科書

細胞診では毎日の業務の積み重ねがよりよい結果をもたらします。より豊富なコメントと診断精度の向上に日夜努力しております。

検査項目

- 細胞診：婦人科
- 細胞診：一般（呼吸器・泌尿器・体腔液・その他）
- 病理組織診断：各種臓器の病理組織検査
特殊染色（免疫染色法を含む）
ER、PgR、HER2染色法
- 研究用病理組織標本作製
※詳細は検査案内書参照

結果報告

- 受け取りから結果報告まで
細胞診：2～3日
病理組織診断：3～4日
（脱灰脱脂や特殊染色が必要な場合は多少時間がかかります）
※お急ぎの場合はその都度対応いたします

組織、細胞診検査の集配業務行っております。

各種依頼用紙、試料瓶などはご一報頂ければお届けします。新規の医療機関でもお電話頂ければすぐに伺います。

※詳細は検査案内書を参照してください。検査料金は当センターの検査料金規定によります。

(社)霜仁会検査センター

〒755-0046 宇部市南小串1丁目2-11 霜仁会医学交流会館2F
TEL 0836-31-7510 FAX 0836-31-7590



令和3年度4年生 白衣着衣式 (令和3年12月17日 於第三講義室) 記事はP4に掲載

*** 2022年 ***

霜仁会総会のお知らせ

日時：2022年5月15日（日） 総会 13時30分より
 場所：ANAクラウンプラザホテル宇部3階
 山口県宇部市相生8-1 TEL (0836) 32-1112

2022年 霜仁会年会費 自動引落のお知らせ

年会費：10,000円
 自動引落予定日：2022年5月26日
 自動引落のお申込みは霜仁会事務局まで
 ご連絡下さい。(0836-22-2029)
 どうぞよろしくお願いたします。

57会開催案内

2年間延期になっておりましたが、今年こそは
 開催いたします。
 期日 令和4年9月17日(土) 19時
 場所 日光千姫物語 日光市安川町6-48
 東照宮へ徒歩1分
 詳細は個別に連絡いたします。奮ってご参加
 ください。
 幹事 渡邊洋伸
 Mail : hironobuwatanabe@hotmail.com

編集後記

白衣着衣式の写真を見ながら：大学勤務時には実習担当で学生と頻繁にやり取りしていました。今は機会もほとんど無くなってしまいい恋しく感じるこの頃です。彼らは未だ続くコロナ禍で多くの制約を受けながらも懸命に実習に取り組んでいます。終息がなかなか見えてこない中ですが、無理と諦めずどうすればできるのかと前向きに捉えて頑張ってほしいです。ピンチはチャンス。(河村宜克)

訃報

金子 昇先生(平4年卒) 令和3年12月8日逝去
 仲村宏春先生(昭33年卒) 令和3年12月13日逝去
 森重照夫先生(昭25年卒) 令和3年12月16日逝去
 山田明夫先生(昭40年卒) 令和3年12月21日逝去
 山根 功先生(昭25年卒) 令和3年12月27日逝去
 薦田 信先生(昭39年卒) 令和4年1月1日逝去
 實藤隼人先生(昭44年卒) 令和4年2月21日逝去
 ご冥福をお祈りいたします。